

参加費

- 3日間通し参加の場合
自治体問題研究所個人会員 14,000円
一般 16,000円
- 部分参加の場合(自治体問題研究所会員、一般とも同額)
7月27日 6,000円
7月28日 7,000円
7月29日 4,000円
- 現地分科会(No.21、22、23)は参加費のほかに、別途追加費用が必要です。

地元割引

- 現地実行委員会をつくってご協力いただいている地元・静岡県では、住民や町村議会議員の皆様を対象に、地元割引がございます(県・市議会議員、自治体職員は除く)。詳細は、現地実行委員会にお問い合わせください。

現地実行委員会：静岡県地方自治研究所内
TEL 054-282-4060
E-mail : jichiken@s-jichiroren.com

新規入会者特典

- 2日以上参加される方で、自治体学校を機に自治体問題研究所に新規入会される方には、自治体学校当日受付で入会申込書と引き換えに、初年度会費から4,000円を差し引かせていただきます。

※2日目の昼食について

7月28日(日)の会場周辺は飲食店が少ないか、あっても混み合うため、お弁当のご注文をお勧めいたします。
▶申込書の欄に○をつけてお申し込みください。

第61回自治体学校実行委員会

事務局 〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4階 自治体問題研究所内
TEL 03-3235-5941 FAX 03-3235-5933 E-mail : info@jichiken.jp

共催団体：自治体問題研究所／北海道地域自治体問題研究所／オホーツク地域自治研究所／青森県地域自治体問題研究所／岩手地域総合研究所／福島自治体問題研究所／茨城県自治体問題研究所／とちぎ地域自治研究所／ぐんま住民と自治研究所／埼玉自治体問題研究所／千葉県自治体問題研究所／東京自治問題研究所／多摩住民自治研究所／神奈川自治体問題研究所／にいがた自治体研究所／富山県自治体問題研究所／いしかわ自治体問題研究所／山梨地方自治研究所／長野県住民と自治研究所／静岡県地方自治研究所／東海自治体問題研究所／滋賀自治体問題研究所／京都自治体問題研究所／大阪自治体問題研究所／兵庫県自治体問題研究所／奈良自治体問題研究所／和歌山県地域自治体問題研究所／とっとり地域自治研究所／しまね地域自治研究所／岡山県自治体問題研究所／広島自治体問題研究所／徳島自治体問題研究所／香川県自治体問題研究所／愛媛県自治体問題研究所／高知自治体問題研究所／福岡県自治体問題研究所／長崎県地域自治体研究所／くまもと地域自治体研究所／みやざき住民と自治研究所／おきなわ住民自治研究所

●会場へのアクセス●

- 7月27日(土) ●全体会
静岡市民文化会館 静岡市葵区駿府町2番90号 TEL:054-251-3751
●JR静岡駅北口より徒歩約25分 北口バス乗り場より「市民文化会館入口」下車徒歩2分(運賃100円)
- 7月28日(日) ●分科会・講座
グランシップ 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号 TEL:054-203-5710
●JR「東静岡駅」南口正面(JR東海道線 静岡駅—東静岡駅は1駅、約3分)
パルシェ会議室 静岡市葵区黒金町49番地 TEL:054-252-2202
●JR「静岡駅ビル」パルシェ7階
- 7月29日(月) ●全体会
清水文化会館マリナート 静岡市清水区島崎町214 TEL:054-353-8885
●JR「清水駅」みなと口より徒歩3分(駅自由通路直結)(JR東海道線 静岡駅—清水駅は3駅、約11分)



久能山東照宮 (提供:静岡県観光協会)

静岡

憲法と自治のチカラが 地域の未来を切りひらく



駿河湾からの富士山 (提供:静岡県観光協会)

みんなが先生 みんなが生徒

第61回 自治体学校 in 静岡

2019年7月27日(土)▶29日(月)

静岡市民文化会館／グランシップ、パルシェ／清水文化会館マリナート

1日目 ●全体会 7月27日(土)12:30~17:00 静岡市民文化会館



記念講演

「憲法と自治のチカラが
地域の未来を切りひらく」

岡田知弘 (京都橘大学教授)



特別発言

「日本一小さな村から自治を
発信する」

和田知士 (高知県大川村村長)



特別発言

「水道事業は公営で
いいじゃないか」

池谷たか子

(浜松市の水道民営化を考える市民ネットワーク事務局長)



3日目 ●全体会 7月29日(月)9:30~11:45

特別講演

「対話による協働の
まちづくりを語る!」

西原茂樹 (前 静岡県牧之原市長)

主催 ● 第61回自治体学校実行委員会

後援 ● 静岡県／静岡市／牧之原市／御前崎市／静岡市長会／静岡市議会議員会／静岡市町村会／静岡県町村議会議員会／静岡新聞社／静岡放送／中日新聞東海本社／読売新聞静岡支局／朝日新聞静岡総局／毎日新聞静岡支局／産経新聞静岡支局／共同通信社静岡支局／時事通信社静岡総局／株式会社テレビ静岡／静岡朝日テレビ【2019年4月10日現在・順不同】



安倍川花火大会 (提供：静岡県観光協会)

第61回

自治体学校 in 静岡

大迫云々ワイルドカンパニ静岡



広がる茶畑

1日目●全体会 7月27日(土) 12:30～17:00

静岡市民文化会館 大ホール

12:00～ 開場

12:30～ **歓迎行事 みんなで参加!「憲法太鼓」**

静岡で活動する「静岡合唱団なかま」と「川原太鼓保存会」です。「憲法太鼓」は愛知のうたごえ祭典のために創作された「あゆちの鼓動」を元に、静岡の弁護士さんたちの依頼「憲法を太鼓で演奏して欲しい」にこたえ、みんなで掛け声のかけられる曲にしました。とても覚えやすい曲です。ご期待ください。



13:00～ **開校あいさつ** 学校長(兼・現地実行委員長) **川瀬憲子**

特別発言

①水道事業は公営でいいじゃないか

池谷たか子(浜松市の水道民営化を考える市民ネットワーク事務局長)

②日本一小さな村から自治を発信する

和田知士(高知県・大川村村長)

③辺野古基地建設に反対する県民総意の運動 依頼中

記念講演

「憲法と自治のチカラが地域の未来を切りひらく」

岡田知弘(京都橘大学教授)

地方統治論としての「自治体戦略2040構想」は地域・自治体・住民の暮らしに何をもちますのでしょうか。安心して住みつけられる地域をつくるにはどうすればいいのでしょうか。すでに各地ですぐれた実践が展開されています。憲法をいかに、住民の暮らしを第一にした多様な施策を充実させること、中小企業や農林水産業の振興によって地域経済循環を大きくしていくことこそが、人口減対策にもつながり、地域の未来を切りひらきます。こうした地域と住民生活を守る自治体の役割についてお話しします。

16:50～ **次回開催地あいさつ**

17:00 **全体会終了**

★静岡と全国の地酒を楽しむ交流会★★★★★

17:30～19:30 静岡市民文化会館 大会議室(3階)

静岡には良い日本酒がたくさんあります。静岡と全国の地酒を飲みくらべながら、交流の花を咲かせましょう! 全国からお国自慢の地酒を持ってきてね!

◆参加費: 3,000円(酒代、酒肴代など) ※酒肴として、静岡のはんぺん等名物を含んだ折詰をお一人様おひとつお渡しします。

◆定員: 100名(申込み順)

▶申込書の該当欄に○をつけてお申し込みください。

全国の地酒の提供(カンパ)をお願いします。

3日目●全体会 7月29日(月) 9:30～11:45

清水文化会館マリナート 大ホール

9:00 開場 9:30～開会

特別講演 対話による協働のまちづくりを語る!

西原茂樹(前・牧之原市長)

市政運営の基本に「市民参加と協働」を掲げ、自治基本条例制定から、東日本大震災を契機に津波対策や浜岡原発対策など、職員や市民にやる気を起こしてもらおう手法に「ファシリテーション」を積極的に用いました。「対話」とは「聴くこと」、職場でも議会でも、最重要である市民との信頼関係構築を語ります。

プロフィール: 1954年生まれ。静岡県日中友好協会常務理事、MIJBCセンター理事長。牧之原市長(3期)として「対話による協働のまちづくり」を実践しました。市民との対話を重ねて作った「津波防災まちづくり計画」をはじめ「公共施設マネジメント」や「地域リーダー育成事業」は全国のモデルになっています。また浜岡原発の永久停止を主張し、市民と事業者の対話の場を設けるなどユニークな市政運営が目されました。

閉校式 **参加者感想** 自治体学校で学んだこと

閉校あいさつ 実行委員長 **松繁美和**

2日目●分科会・講座 7月28日(日) 9:30～16:00

グランシップ/パルシェ ≪分科会・講座の会場について≫

会場はグランシップ(JR東静岡駅)とパルシェ7階会議室(JR静岡駅ビル)に分かれます。お申込みいただいた方に領収書と一緒に「分科会・講座別会場一覧」を郵送いたしますので、参加される分科会・講座の会場を必ずご確認ください。また、7月1日以降、自治体問題研究所ホームページでもご案内します。

分科会

1●「全世代型社会保障」と介護保険の課題

助言者: **芝田英昭**(立教大学)



消費税引き上げとセトで実施する安倍政権の「全世代型社会保障」で、保険料・利用料の負担増、介護サービスの保険外し、担い手不足など介護保険制度の危機がいつそう深刻化することは必至です。地域や現場での高齢者の尊厳と生活を守る運動、実践を考え交流します。

2●私たちが地域医療をつくる

助言者: **長友薫輝**(津市立三重短期大学)



地域医療の拠点である公立病院・公的医療機関は経営優先のもと、医療従事者不足から廃止や統廃合、民営化が住民不在のまま進められています。私たちが安心して住み続けることができる地域医療をつくるため、各地の経験に学び、「暮らしを守る地域医療」について考えます。

3●国民健康保険制度の都道府県単位化と自治体の取り組み

助言者: **神田敏史**(神奈川自治労連)



住民のみなさんが安心して生活するための基盤であり、社会保障の根幹に位置する国保制度。現在、多くの自治体で国保料(税)の引き上げが懸念されているのはなぜでしょうか? 憲法25条に基づく「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するためにも、これ以上の保険料(税)負担や医療機関での窓口負担を重くしないための対策を考えます。

4●「幼児教育・保育の無償化」と公的保育制度の行方

助言者: **中山徹**(奈良女子大学)



国がすすめる「幼児教育・保育の無償化」は、問題だらけです。給食費をはじめとする実費負担。高所得者ほど恩恵が生じる制度設計。そして公立施設分は全額自治体負担とする財源の問題。このまま進めば、公的保育制度が崩れるおそれがあります。子どもも保護者も保育者も安心できる制度構築のために何をすべきか考えます。

5●「自治体戦略2040構想」と行政サービスの民間化

助言者: **萩原聡央**(名古屋経済大学)



総務省の「自治体戦略2040構想研究会」による報告書が公表され、自治体の行政サービス提供主体からの撤退など、自治体行政のあり方に大きな変化がもたらされようとしています。「公共サービスの産業化」政策を軸にした「自治体戦略2040構想」における行政サービス民間化の問題点や課題について考えます。

6●「水は人権」—住民から水の自治をうぼう水道事業の広域化・民営化—

助言者: **内田聖子**(アジア太平洋資料センター)



国は水道法改正を強行し、水道事業の民営化(コンセッション方式導入)を推進し、同時に都道府県に1～数水道事業体へ広域化しようとしています。海外の再公営化の動き、市議会です決された大阪市の経験、コンセッションが計画される現地からのレポートなどで学びます。

7●「自治体戦略2040構想」は公務労働をどう変質させるか

助言者: **黒田兼一**(明治大学名誉教授)



基本的人権と生存権を保障し実現することが公務労働の役割。「自治体戦略2040構想」はAI(人工知能)とロボットを活用し従来の半分の職員で公務を担うといいますが、果たしてこの基本的な役割を果たせるのでしょうか。

8●地域循環型経済と一人ひとりが輝く地域づくり

助言者: **岡田知弘**(京都橘大学)



アベノミクスの下で地域経済の深刻さが増す中で、安倍政権はコンパクトシティ化など「選択と集中」をいっそう推進しつつあります。中小企業振興基本条例や公契約条例の活用による地域産業の振興とともに、年金経済などにも着目した福祉の向上策で地域循環型経済の実現を図る、一人ひとりが輝く地域づくりの展望について考えます。

9●大規模災害と自治体の役割

助言者: **塩崎賢明**(神戸大学名誉教授)



大規模災害による「関連死の増加」、その原因のひとつとして「避難所の環境」が指摘されています。また、在宅被災者や仮設住宅、復興まちづくりの問題点についても考えます。これらの改善に向けて、いま自治体がすべきことは何かを探しましょう。

10●原発再稼働させない地域と自治体の力

助言者: **立石雅昭**(新潟大学名誉教授)



福島第一原発事故から8年が経過しました。原発再稼働を許さず、原発ゼロの日本に転換するには、地域と自治体の力がカギとなります。この間の全国の運動の到達点と課題を明らかにするとともに、議会と自治体をめぐる具体的取り組みとその経験・教訓を学びます。

講座 11●自治体財政のしくみと課題

講師: **川瀬憲子**(静岡大学)



本講座では、新しく地方議員になられた方々、財政の構造を知りたい自治体職員や市民団体の皆さまに、自治体財政の基本的なしくみを解説した上で、国と地方の財政関係、交付税のトップランナー方式、「地方創生」政策による地方財政への影響等についても、事例を交えながらわかりやすく解説していく予定です。

12●議会力・議員力の向上へ—住民に役立つ議会をつくる—

講師: **寺島渉**(長野県飯綱町 前町議会議長)



議会改革10年の実践—①追認機関から脱し、議会の権限と役割を果たす、②「チーム議会」としての政策力の向上で首長と善政競争をすすめる、③議会への住民参加を広げ、議会活動を「見える化」する等を中心にお話しします。初めて議員になられた方、議会を変えたいと思っている方へのヒントやアドバイスをめざします。

現地分科会

現地分科会

いずれも集合▶8:45「JR静岡駅」南口正面・スルガ銀行静岡南支店前

出発▶9:00 解散▶17:00 集合場所に同じ 定員▶各45人(事前申込で先着順)

自治体学校の参加費以外に追加費用(バス代、入館料、昼食代を含む)が必要です。

21●浜岡で原発の危険性を体感、静岡で新エネルギーの検証

東日本大震災・福島第一原発事故から8年経過した今でも事故の収束、放射能汚染の除去、地域の復興はみえてきません(加害者である政府と東電が責任を果たさない)。改めて、御前崎市にある浜岡原子力館で原発の危険性・非経済性を福島原発と同型の実物大模型で体験します。静岡県が決めた「31キロ圏」内を通過するバスの中では周辺自治体の原発避難計画や原発事故対策の取り組みを紹介し、静岡市に戻り、再生可能エネルギーの取り組みを検証するなかからエネルギー自治について学びます。昼食は地元御前崎の海鮮料理です。◆追加費用 8,000円

22●「ふじのくに茶の都ミュージアム」と茶・農業生産者との懇談

静岡県立「ふじのくに茶の都ミュージアム」(鳥田市)は、2018年3月に開館し、お茶の魅力を世界に発信し次世代への継承をめざしています。このミュージアムの見学と体験、そして世界農業遺産の「静岡の茶草場農法」などを受け継いで頑張っている若手生産者や厳しい農業の実態の中で奮闘している若手生産者と懇談します。

お話を聞くだけでなく茶園や農業の現地に赴き、美味しいお茶を飲みながら茶・農業の未来と地域起こしについて考えます。◆追加費用 7,000円

23●富士山世界遺産センターと自衛隊東富士演習場をめぐる

富士山は信仰の対象でも芸術創作の源泉でもあり、2013年6月には世界文化遺産として登録されました。これを機に、保護・保存・整備に努め、次世代に富士山や関連資源を継承しなければなりません。しかし、そんな富士山の麓に米軍キャンプと複数の自衛隊駐屯地、さらには演習場があり、ときには実弾を使った火力演習まで行われていることをご存知ですか? この現地分科会では静岡県富士山世界遺産センターの見学を通じて富士山について学んでいただき、そのあと東富士演習場等を見ていただきます。世界遺産と軍事的施設の対比が見どころです。◆追加費用 7,000円

★ナイター企画★★★★★★★★★★★★★★★★

7月28日(日) 16:30～18:00 グランシップ

ナイター企画は参加者の自主交流の場です。事前のお申し込みは必要ありません。

①「まち研」交流会～地域から「自治の力」を育もう

よびかけ人: **山口誠英**(小山市民自治研究会)、**長谷博司**(まいづる市民自治研究所)

「まち研」は基礎自治体(複数を含む)を単位に地域で生じている様々な問題の調査や研究、提言などの活動をしています。各地のまち研活動の交流を通して地域の未来を考えましょう。「まち研って何?」という方の参加も歓迎です。

②わたしのまち、あなたのまちの生活保護を考えてみよう

よびかけ人: **横山秀昭**(全国公的扶助研究会)、**田川英信**(全国生活と健康を守る会連合会)

毎年好評の企画です。生活保護法の「改正」、さらなる保護基準の引き下げ……。生存権を絵に描いた餅にしないために、地域でどのように動けばいいのかを考えます。生活保護に関する質疑の時間もとります。

③自治体労働者交流会

よびかけ人: **佐賀達也**(自治労連)

「自治体戦略2040構想」や行政サービスのビジネス化など、地方自治そのものがゆがめられようとしているもと、憲法に基づく行政の役割の発揮に向け、自治体労働者が職場の課題や自治研活動などを語り合う場です。

④地域交通のこれからを考える

よびかけ人: **竹下登志成**(自治体問題研究所)

昨年の「地域交通分科会」での議論を引継ぐ交流会です。人口減少と高齢化が進む中で、域内の足を守ることは集落の維持に直接つながる大事な要件です。その実践を交流しながら、さらにその財源にまで踏み込んだ議論をしたいと思います。資料は30部ご用意ください。

⑤リニア新幹線 深刻な水問題と自然環境への影響

よびかけ人: **林弘文**、**酒井政男**、**林克**(リニア新幹線を考える静岡県民ネットワーク)

静岡県は、リニア新幹線工事でJR東海が着工できていない県となっています。南アルプストンネル工事による水問題や県民の暮らし・自然環境問題などその背景を明らかにします。また、リニア沿線での住民運動のみなさんのたたかいとの交流と連帯を深めます。

☆FAX専用申込書

FAX:054-254-8374 TEL:054-254-8375 日本旅行 静岡支店

営業時間: 10:00~18:00(土日・祝休業)

お申し込み締切日: 2019年6月21日(金)まで

※ご宿泊のお申し込みがない場合7月5日(金)

第61回 自治体学校 in 静岡 参加・宿泊申込書

※必ず、控えを保存して下さい。

新規・追加・変更・取消

裏面の「お客様の個人情報取扱い」について同意の上申し込みます

都・道・府・県	所属団体・職場	フリガナ 代表者氏名 (書類送付先)	
書類 送付先住所	〒 -	TEL:	FAX:

※下記(ア)~(エ)のアンケートは申込書に記入された方、全員分をご記入下さい。

(ア) 所 属	1:自治体職員	2:民間労働者	3:住民・民間団体	4:議員・政党	5:研究者
(イ) 年 齢	1:10代・20代	2:30代	3:40代	4:50代	5:60代以上
(ウ) 参 加 回 数	1:はじめて	2:2回目	3:3~5回目	4:6回以上	
(エ) 区 分	1:研究所会員	2:一般	3:『住民と自治』読者(一般料金となります)		

●参加費: 研究所会員 14,000円、一般 16,000円 部分参加は7/27(6,000円)、7/28(7,000円)、7/29(4,000円)

●新規入会者特典: 2日以上の参加で、研究所に新規入会される方は当日受付で特典が受けられます。

●現地分科会21~23のコース別に別記の費用がかかります。※定員制のため事前申込で先着順となります。

なお、現地分科会お申込みの方は、念のため、携帯電話番号を通信欄にご記入いただければ幸いです。

No	フリガナ 参加者氏名	年齢 性別	学校参加日			分科会・講座(7/28) (1~12, 21~23の中から1つを選択)			弁当 (7/28)	地酒 交流会 (7/27)	宿泊: 下記の【ご注意】を確認下さい				回答欄 該当番号を 記載下さい	料金合計(円)
			7/27 (土)	7/28 (日)	7/29 (月)	分科会・ 講座No.	現地 分科会 21	現地 分科会 22			現地 分科会 23	7/27 (土)	7/28 (日)	第1 希望		
例	シズオカ タロウ 静岡 太郎	50歳 男・女	○	○	○				○	○	○	○	○	⑦	①	45,300円
1		歳 男・女														
2		歳 男・女														
3		歳 男・女														
通信欄	【ホテル希望】「喫煙」ルーム など 携帯電話番号: -								返金先 口座	金融機関名 支店名 普通・当座No 口座名義(カタカナ)						

(料金計算事例 参加費一般 16,000円 現地分科会 7,000円 弁当 1,000円 地酒交流会 3,000円 宿泊7/27 9,800円 7/28 8,500円 合計45,300円)

※必須記入

領収証宛名希望 :

領収証は、お振込を確認しましたら、弊社作成の上郵送を致します。振分けは下記内容です。

①参加費 ②現地分科会 ③弁当 ④地酒交流会 ⑤宿泊費 ※②~⑤は申込者のみ。

【ご注意】①ホテルについては先着順で受付させて頂きます。

②喫煙ルームをご希望の方は通信欄にその旨をご記入下さい。(基本禁煙の手配となります。ご希望に添えない場合がございます)

【お願い】申込書受領後は、請求書をFAXにて送付いたします。原本が必要な場合は事前にお知らせください。

(弊社記入欄) 申込No. 受付日 / 確認書: /

第61回 自治体学校 in 静岡

お申し込みのご案内

開催日: 2019年7月27日(土) ~ 7月29日(月)

お申込み締め切り日: 2019年6月21日(金)

ご宿泊のお申し込みがない場合は7月5日(金)まで受付けております。



7/27(土) ●全体会 静岡市民文化会館(会場へのアクセス)

■JR静岡駅北口より徒歩約25分 / 静岡鉄道バス「市民文化会館入口」下車 徒歩約2分

7/28(日) ●分科会 グランシップ(会場へのアクセス)

■JR東海道本線東静岡駅南口正面

7/28(日) ●分科会 静岡駅ビル パルシェ(会場へのアクセス)

■JR東海道本線静岡駅直結

7/29(月) ●全体会 静岡市清水文化会館マリナート(会場へのアクセス)

■JR東海道本線清水駅みなと口より徒歩約3分

お問い合わせ・お申込先(旅行企画・実施)

観光庁長官登録旅行業第2号

株式会社日本旅行 静岡支店

TEL:054-254-8375 FAX:054-254-8374

〒420-0857 静岡県静岡市葵区御幸町6 静岡セントラルビル9階

営業時間 平日10:00~18:00(土・日・祝日は休み)

総合業務取扱管理者: 吉川 将洋 担当: 吉川・須之内・鈴木

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があればご遠慮なく上記取扱管理者にご質問下さい。

中相19-017



1:学校参加費

参加費:自治体問題研究所個人会員 14,000円 一般 16,000円
 部分参加は会員・一般同額 7月27日:6,000円 7月28日:7,000円 7月29日:4,000円

2:ご宿泊の案内<旅行期日>:2019年7月27日(土)~29日(月)

(募集型企画旅行契約)

- ①宿泊施設は、静岡市内のホテル(シングル)をご用意しております。
 会場へ便利な、静岡駅近くから満室になることが想定されます。お早めにお申込下さい。
- ②宿泊料金は、1泊朝食付きでのご案内となります。(税金・サービス料含む)「宿泊料金(=旅行代金)」
- ③ご希望のホテルの「番号」を宿泊申込書にご記入下さい。(第2希望まで必ずご記入下さい)

地区	ホテル	番号 記号	宿泊料金(1泊朝食/税込)		地区	ホテル	番号 記号	宿泊料金(1泊朝食/税込)	
			7/27(土)	7/28(日)				7/27(土)	7/28(日)
静岡駅 北口 周辺	ガーデンホテル静岡	①	11,000円	11,000円	静岡駅 南口 地区	ホテルセンチュリー静岡	⑫	15,000円	11,000円
	ホテルガーデンスクエア静岡	②	11,000円	9,500円		サンパレスホテル	⑬	8,500円	8,500円
	三交イン静岡北口	③	11,500円	7,500円		静鉄ホテルプレジオ静岡南	⑭	14,000円	11,000円
	くれたけインプレミアム静岡駅前	④	10,000円	10,000円		※ホテルはシングルのみでの設定になります。 ☆各設定1名様あたり1泊朝食付きの代金となります。 ※ホテル番号③、⑤、⑥、⑩、⑪、のホテルの朝食は軽朝食となります。			
	静岡タウンホテル	⑤	8,500円	8,500円					
	スマイルホテル静岡	⑥	11,000円	9,000円					
	静岡北ワシントンホテルプラザ	⑦	9,800円	8,500円					
	静岡ランドホテル中島屋	⑧	11,000円	11,000円					
	ホテルアジア静岡	⑨	12,500円	12,500円					
	静鉄ホテルプレジオ静岡北	⑩	12,500円	11,000円					
	ホテルアーバント静岡	⑪	8,500円	8,500円					

【宿泊スケジュール】添乗員は同行しません(最少催行人員:1名)

- 7/27(土):ご自宅~(お客様負担)~各ホテル
 7/28(日):各ホテル~(お客様負担)~各ホテル
 7/29(月):各ホテル~(お客様負担)~ご自宅



3:現地分科会

現地分科会は学校参加費に加えて、下記の追加費用が必要です。
 ★現地分科会追加費用は、バス代、施設入場見学料などの必要経費です。

- 21● 浜岡で原発の危険性を体感、静岡で新エネルギーの検証.....8,000円 最少催行人員35名
- 22● 「ふじのくに茶の都ミュージアム」と茶・農業生産者との懇談.....7,000円 最少催行人員35名
- 23● 富士山世界遺産センターと自衛隊東富士演習場をめぐる.....7,000円 最少催行人員35名

※別紙リーフレット本編
 をご参照下さい。

4:お弁当の申込み

(手配旅行契約) 取消料:ご利用日の前日より100%申し受けます。

7月28日(日)の昼食弁当は、事前にお申込下さい。
 お弁当(お茶付) 1,000円(税込) 会場周辺は飲食店が少ないのでご利用をお勧めいたします。
 当日のお申込はできませんので事前にお申込下さい。

5:地酒交流会について

(手配旅行契約)取消料:ご利用日の前日より100%申し受けます

7月27日(土)17:30~19:30「静岡市民文化会館3F大会議室」にて静岡の地酒を楽しむ交流会を開催いたします。
 静岡の郷土料理を添えた折り詰め付き 3,000円(税込)にて事前申込みを受付けいたします。

6:お取消し・変更方法

- 募集型企画旅行契約
 (1)この旅行は(株)日本旅行(以下「当社」といいます)が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することになります。
 (2)旅行契約の内容・条件は、募集広告、パンフレット、本旅行条件書、本旅行出発前にお渡しする確定書面(最終旅行日程表)及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。
- 旅行のお申込みと旅行契約の成立
 (1)申込書に所定事項をご記入のうえ、お一人様につき下記のお申込金または旅行代金の全額を添えてお申し込みいただきます。申込金は旅行代金、取消料または違約料のそれぞれの一部として取扱います。
 (2)電話・郵便・ファクシミリその他の通信手段によるお申し込みを受け付けます。この場合、予約の時点では契約は成立してならず、当社から予約の旨を通知した後、予約の申し込みの翌日から起算して3日以内に、申込書と申込金を提出していただきます。この期間内に申込書と申込金を提出されない場合は、お申し込みはなかったものとして取り扱います。
- 申込金(お一人様につき)

旅行代金	お申込金
20,000円未満	5,000円以上
20,000円以上50,000円未満	10,000円以上
50,000円以上100,000円未満	20,000円以上
100,000円以上	旅行代金の20%以上

- 募集型企画旅行契約は、契約の締結を承諾し前(3)の申込金を受領したときに成立したものとします。
- 通信契約による旅行契約は、お申込を承諾する通知を発した時に成立します。ただしe-mail等の電子承諾通知による方法により通知する場合は、その通知がお客様に到達したときに成立するものとします。

【お客様の個人情報の取扱いについて】

- ①当社では、お客様からご提供いただいた個人情報を厳重に管理し、申しいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との間の連絡及び大会主催者への提供、並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- ②その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては当社ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご確認ください。
- ③個人情報の取扱いに関する問合せ先(株)日本旅行 静岡支店 個人情報保護管理者:星野 TEL:054-254-8375

- 旅行代金のお支払い
 旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって14日前にあたる日より前にお支払いいただきます。
- 旅行中止の場合
 ご参加のお客様が当パンフレットに明示した最少催行人員に満たない場合、当社は旅行の催行を中止する場合があります。この場合、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日前にあたる日(日帰り旅行は3日前)より前に連絡させていただき、お預かりしている旅行代金の全額をお返しします。
- 旅行代金に含まれるもの及び含まれないもの
 (1)パンフレットに記載された旅行日程に明示された交通費、宿泊費、食事代、入場料、消費税等諸税、空港施設使用料が含まれます。
 (2)旅行日程に記載のない交通費等の諸費及び個人的性質の諸費用は含まれません。
- お客様による旅行契約の解除
 (1)お客様は、いつでも次に定める取消料(お一人様につき)をお支払いいただいて、旅行契約を解除することができます。この場合、すでに収受している旅行代金(あるいは申込金)から所定の取消料を差し引き払い戻しいたします。申込金のみで取消料がまかなえないときは、その差額を申し受けます。

コース	取消料	
	宿泊付旅行	日帰り旅行
① 21日前に当たる5日以前の解除	無料	無料
② 20日前に当たる5日以前の解除(③~⑦を除く)	旅行代金の20%	無料
③ 10日前に当たる5日以前の解除(④~⑦を除く)	旅行代金の30%	旅行代金の20%
④ 7日前に当たる5日以前の解除(⑤~⑦を除く)	旅行代金の40%	旅行代金の30%
⑤ 旅行開始の前日の解除	旅行代金の40%	旅行代金の40%
⑥ 旅行開始の前日の解除	旅行代金の50%	旅行代金の50%
⑦ 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%	旅行代金の100%

- なお、取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた日とします。
- お客様のご都合で出発日、コース、宿泊ホテル等を変更される場合にも上記の取消料が適用されます。

- 個人情報の取扱いについて
 (1)当社及び下記「販売店」欄記載の受託旅行者(以下「販売店」)は、旅行申込みの際にご提供いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送、宿泊機関等の手配およびそれらのサービスの受領のために必要な範囲内で利用させていただきます。
 (2)当社、当社グループ会社(会社名等はホームページをご参照ください)および販売店では、①取扱い商品、サービス等のご案内 ②ご意見、ご感想の提供・アンケートのお願い ③統計資料の作成。にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。
 (3)このほか当社の個人情報の取り扱いに関する方針については、当社のホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご確認ください。
- ご旅行条件・ご旅行代金の基準
 この旅行条件は、2019年4月1日を基準としています。また旅行代金は、2019年4月1日現在の有効な運賃・規則を基準としています。

【国内旅行傷害保険加入のおすすめ】
 安心してご旅行をしていただくため、お客様自身で保険をかけられることをおすすめいたします。

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認のうえお申し込み下さい。